クラス1弁の強度計算書の説明分類

設計・建設規格　各規格番号と強度計算書との対応				説明グループ	クラス1弁									
設計・建設規格 規格番号		強度計算書の計算式（章節番号）	備考	系統名	残留熱除去系				高圧炉心スプレイ系	低圧炉心スプレイ系	原子炉隔離時冷却系	残留熱除去系		
（クラス1弁）			◎：評価部位有　代表して説明 ○：評価部位有 ●：説明済 －：評価部位なし	弁名称	E12-F008	E12-F042A	E12-F042B	E12-F042C	E22-F004	E21-F005	E51-F064	E12-F053A	E12-F053B	E12-F050B
				既設/新設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設
				改造	無	無	無	無	無	有（弁一式交換）	有（弁一式交換）	有（弁一式交換）	有（弁一式交換）	有（弁箱交換）
				DBクラス	DB2→DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB2→DB1	DB2→DB1	DB1
				SAクラス	－	SA2	SA2	SA2	SA2	SA2	－	－	－	－
				型式	止め弁（仕切弁）	止め弁（仕切弁）	止め弁（仕切弁）	止め弁（仕切弁）	止め弁（仕切弁）	止め弁（仕切弁）	止め弁（仕切弁）	止め弁（玉形弁）	止め弁（玉形弁）	逆止め弁
弁の応力評価	VVB-3320	2.1.1 Ⓐ	一次応力（弁箱）		◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎
	VVB-3330	2.1.2 Ⓑ	配管反力による応力（弁箱）		◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎
	VVB-3340	2.1.3 Ⓒ	一次＋二次応力（弁箱）		◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎
	VVB-3350	2.1.4 Ⓓ	一次局部応力（弁箱）		◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎
	VVB-3360	2.1.5 Ⓔ	起動時及び停止時の繰返しピーク応力強さ（弁箱）		◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎
	VVB-3370	2.1.6 Ⓕ	繰返しピーク応力強さ（弁箱）		◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎
	VVB-3380	2.2 Ⓖ	弁体の一次応力		◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎
	VVB-3390	2.3	フランジの強度計算		◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎
	VVB-3390	2.3 Ⓗ	弁箱と弁ふたのフランジの応力解析		◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎
	VVB-3390	2.3	フランジボルトの応力解析		◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎
耐圧部の設計	VVB-3210	2.4 Ⓘ	弁箱又は弁ふたの最小厚さの計算		◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎
	VVB-3220	2.6 Ⓙ	管台の最小厚さの計算		◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎
弁の形状	VVB-3410	2.5	弁箱のネック部内径と弁入口流路内径の比		◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎
	VVB-3411(1)	2.5 Ⓚ	弁箱のネック部と流路部が交わる部分の外表面の丸みの半径		◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎
	VVB-3411(2)	2.5	弁箱の弁座挿入部のすみの丸みの半径		◎	○	○	○	○	○	○	－	－	－
計算書進捗					本日ご提出	－	－	－	－	－	－	－	－	－